

令和3年度
事業計画及び収支予算書

一般財団法人伊勢湾海洋スポーツセンター

令和3年度事業計画書

1. 管理事業

(1) 事業運営

項目	概要
財団の運営管理	新たにボート免許関係の業務を実施し経営資源を確保していくとともに関係法令に則り公益目的支出計画を確実に実施していく。
新型コロナウイルス感染症対策	三重県および津市等の関係機関と連携し新型コロナウイルス感染症の動向に注視するとともに状況に応じた対策を講じながら事業管理を実施する。
業務執行管理	国体開催等の新たな業務を進めることとなるので事務局および各職員のスケジュール管理を徹底しお客様の満足度を確保していく。
経営計画の更新	平成29年度に定めた経営計画が令和3年度で終了するため令和4年度からの経営計画を策定する。

(2) 三重とこわか国体セーリング競技（令和3年9月26日から29日まで）への対応

項目	概要
会場整備	三重県ヨット連盟、三重県および津市等関係機関と協力し会場となる津ヨットハーバーの整備を実施する。また大会期間中は既存艇を移動させ参加艇が使用する場所を確保する。
開催日前後の対応	令和3年9月16日（木）から10月2日（土）までを津ヨットハーバーの臨時休業日とし三重とこわか国体に津ヨットハーバーを専属的に使用させる。
利用者の対応	三重県ヨット連盟および三重とこわか国体・三重とこわか大会津市実行委員会と連携を図りハーバー利用者に対する対応を丁寧に説明し利用者の協力を得る。

(3) 職員の資質向上

項目	概要
自己目標管理	令和元年度から実施している目標設定シートによる達成申告を続けるとともに制度内容および活用法において必要な改善策を中期的な視点で考案する。
公的資格取得	業務に係る公的資格の取得を促進するとともに取得した資格を業務で有効に利用できる技術を習得する。

2. 振興事業

(1) 公共的団体等への支援及びサポート事業

項 目	概 要
陸上艇置場、艇庫保管、ラック式置場使用料等の減免	組織維持および選手強化等の財源確保が困難な団体に対する支援として艇置場使用料の減免等の措置を講じる。 減免対象団体：津工業高等学校、三重県ヨット連盟、三重大学、津海洋少年団、セイラビリティ津、日本レーザークラス協会
セーリング技術支援	引き続き嘱託職員を雇用しハーバースターによるセーリング技術支援および艇整備支援を実施する。
各団体への支援	セーリング競技大会の受付業務および練習の見学など各団体が希望する業務について積極的に支援していく。
三重県ヨット連盟との連携	職員1名を三重県ヨット連盟の理事として派遣しセーリング競技の振興に関与していく。
伊勢湾海洋スポーツセンターヨットクラブへの協力	クラブ員数の充実により今後はクラブ員が自発的に活動できる支援策を講じていく。

(2) 教室事業

項 目	概 要	実施期間 回数	定員 (目標)	講習料/人
ディンギーヨット教室（1日コース）	少人数制の教室を開催しヨット帆走の楽しさを伝えマリンスポーツへの興味を喚起していく。	5月～8月 年2回	4名/回 (8名)	7,000円
クルーザーヨット教室（1日コース）	多様な楽しみ方ができるクルーザーヨットの特徴を生かし受講者のニーズに沿った教室を実施する。	4月～3月 年4回	3名/回 (12名)	7,000円
ボート免許取得教室	小型船舶教習所としてボート免許取得に係る事務および学科・実技講習を実施する。	4月～3月 年6回	(24名)	2級新規取得コース 85,600円
				1級ステップアップコース 35,600円
小型船舶操縦免許更新講習	小型船舶操縦士免許の更新講習受付事務を実施するとともに講師を派遣する。	4月～3月 年24回	(440名)	更新講習 11,000円
				失効再交付講習 21,000円

(3) 体験事業

項目	概要	実施期間 回数	定員 (目標)	参加料/人
乗船体験	クルーザーヨット、モーターボートに乗船しアウトドアの魅力を伝える。希望者があればサンセットクルージングも実施する。	通年 随時実施	クルーザーヨット 5名/回 (30名)	1,000円 小学生以下 700円 団体等の割引有
			モーターボート 9名/回 (80名)	

(4) イベント事業

項目	概要	実施期間 (目標)	参加料
伊勢湾オープンヨットレース大会	第45回大会を主催し内容を簡素化して実施する。運営については実行委員会を設けて行う。	9月5日予定 (63艇) (170名)	実行委員会により決定
ワンデザインヨットレース	好評を博す同一艇種によるレースであることから継続して今年度も実施する。	10月 (6艇)	無料
釣りランキング	月間ランキング形式で釣果を発表し年間を通じて実施する。四季おりおりの釣果を競い利用者間の交流および海洋レジャーの発展を図る。	通年実施	無料

(5) 安全に関する啓蒙活動

項目	概要
BAN（会員救助システム）の推奨	利用者に対し（一財）日本海洋レジャー安全・振興協会が設立したBAN（会員救助システム）への入会を推奨し出港者の安全をサポートする。
海上安全講習会の実施	（公社）中部小型船安全協会と協力し四日市海上保安部、消防署員を講師に迎えて海難防止および普通救命講習等を実施する。
大規模災害（地震）への対策	東海、東南海、南海地震等の大規模災害発生時に備えて地震対応マニュアルおよび津波対応マニュアルを最新のものに更新し震災（津波）を想定した対応策の共有を図る。

3. 収益事業

(1) 艇置場及び係留施設使用目標 ※国体分を除く。

項 目		令和2年度末 (目 標) A	令和2年度末 (見 込) B	令和3年度末 (目 標) C	増 減 B-A	増 減 C-B
財団ヨット		72 艇	74 艇	74 艇	2 艇	0 艇
		5,175,000 円	4,992,900 円	5,250,000 円	△182,100 円	257,100 円
財団ボート		17 艇	17 艇	17 艇	0 艇	0 艇
		4,210,000 円	4,210,920 円	4,210,000 円	920 円	△920 円
占用ヨット		96 艇	92 艇	92 艇	△4 艇	0 艇
		25,777,000 円	25,517,870 円	24,850,000 円	△259,130 円	△667,870 円
占用ボート		31 艇	26 艇	26 艇	△5 艇	0 艇
		9,795,000 円	8,558,940 円	8,613,000 円	△1,236,060 円	54,060 円
栈橋 使用	海上	41 艇	41 艇	47 艇	0 艇	6 艇
	保管	16,000,000 円	17,217,558 円	18,201,000 円	1,217,558 円	983,442 円
	その他	3,699,000 円	3,142,270 円	3,413,000 円	△556,730 円	270,730 円
艇置場小計		257 艇	250 艇	256 艇	△7 艇	6 艇
		64,656,000 円	63,640,458 円	64,537,000 円	△1,015,542 円	896,542 円
会議室		97 回	85 回	90 回	△12 回	5 回
		453,000 円	358,380 円	434,000 円	△94,620 円	75,620 円
テラス		213 回	71 回	80 回	△142 回	9 回
		237,000 円	87,340 円	106,000 円	△149,660 円	18,660 円

(2) 新規獲得施策

項 目	概 要
海上保管（係留施設）	海上保管を推進していくためお試し使用キャンペーンを実施する。また、冬季の栈橋使用を促進するためのキャンペーンも実施する。
中古艇の斡旋	新たにボート免許を取得される方および体験、教室事業参加者に対し中古（譲渡希望）艇情報等を紹介し新規顧客の獲得につなげていく。

(3) 津ヨットハーバーの施設維持

項 目	概 要
津ヨットハーバーの施設管理	津ヨットハーバー管理運営を実施するとともに必要に応じて使用許可施設の修繕工事を要望する。
施設の環境美化	艇置場およびスロープ等施設の環境美化に努め利用者へのサービス向上を図る。
津ヨットハーバーの管理方法の検討	平成21年度から暫定的に実施している使用占用許可による津ヨットハーバーの管理運営について三重県と調整を行う。